

2017年（平成29年）2月期 第3四半期 決算説明資料

古野電気株式会社

開示：2017年1月13日（金）

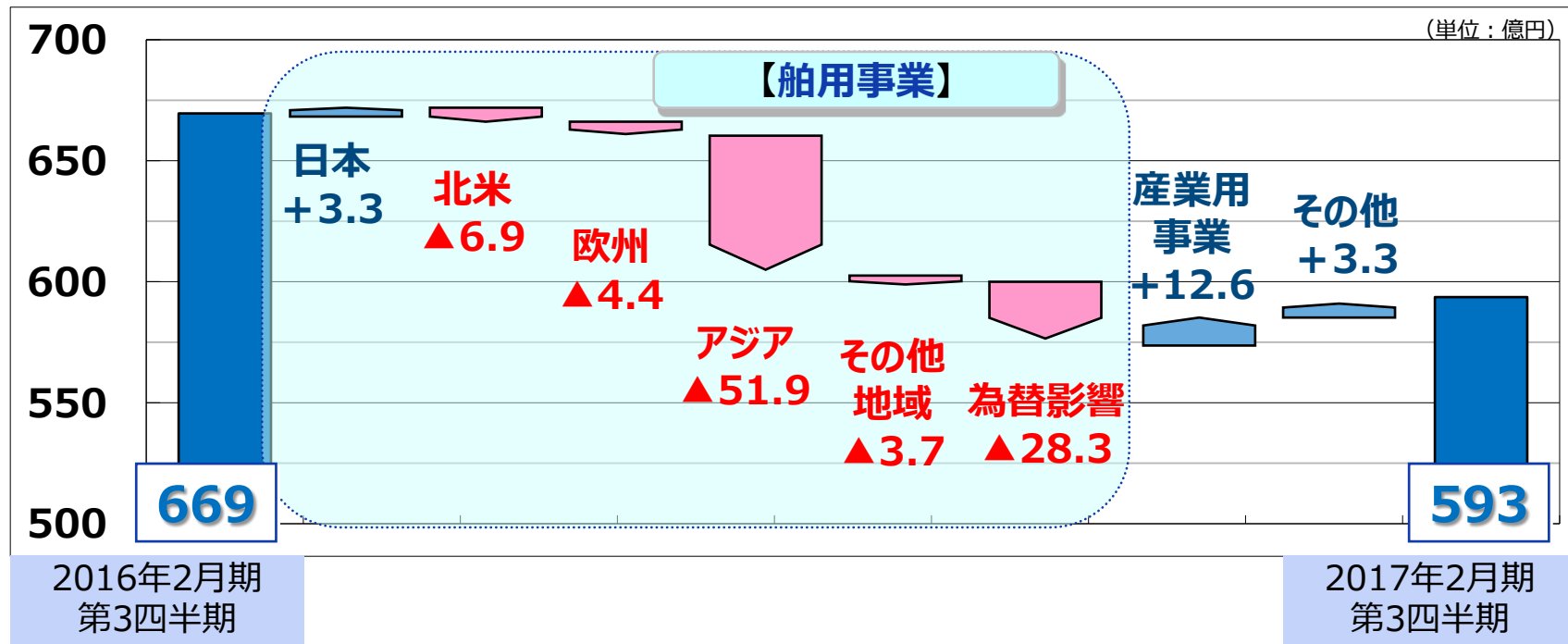


注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

(単位：百万円)	2016年2月期 第3四半期	2017年2月期 第3四半期	増減比（額）	増減比（率）
売上高	66,956	59,363	▲7,593	▲11.3%
売上総利益 (対売上高比率)	22,515 33.6%	20,961 35.3%	▲1,554 +1.7	▲6.9%
営業利益 (対売上高比率)	2,712 4.1%	2,469 4.2%	▲243 +0.1	▲9.0%
経常利益 (対売上高比率)	3,034 4.5%	1,993 3.4%	▲1,041 ▲1.2	▲34.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (対売上高比率)	2,690 4.0%	1,812 3.1%	▲878 ▲1.0	▲32.6%
研究開発費 (対売上高比率)	3,692 5.5%	3,113 5.2%	▲579 ▲0.3	▲15.7%
設備投資額 (対売上高比率)	2,295 3.4%	2,975 5.0%	+680 +1.6	+29.6%
減価償却費 (対売上高比率)	1,966 2.9%	2,102 3.5%	+136 +0.6	+6.9%
(単位：円、期中平均レート)				
為替（対ドル）	121	112	▲9	▲7.1%
為替（対ユーロ）	136	122	▲13	▲9.9%



◆ 船用事業 ▲92億円

- 為替影響 ▲28億円
- 日本：商船向けで増収
- 北米・欧州：全市場で減収
- アジア：商船・漁業向けで減収拡大

◆ 産業用事業 +13億円

- ヘルスケア事業で減収
- 通信・GNSSソリューション事業で増収

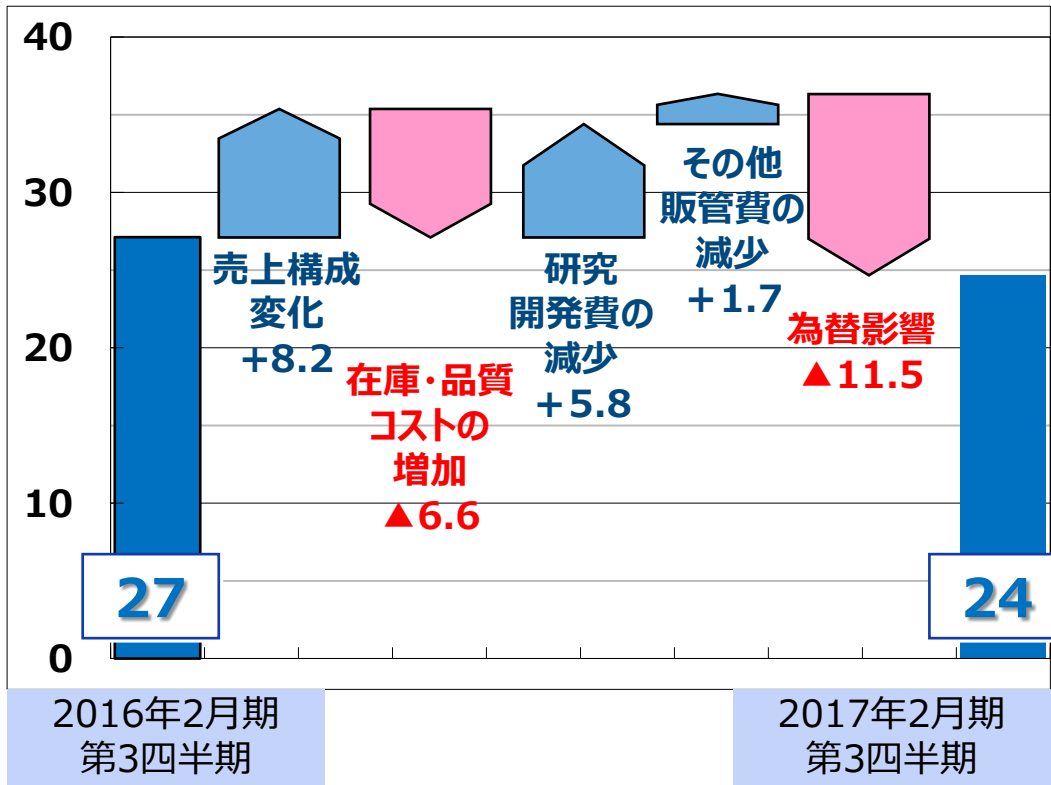
◆ その他 +3.3億円

- 無線LANアクセスポイントが好調

※ 為替感応度 (2016年2月期実績値)
 【ドル】売上高1.5億円、営業利益0.5億円
 【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.6億円

営業利益の増減分析

(単位：億円)



◆ 営業利益 ▲2.4億円

【改善】 +16億円

【悪化】 ▲18億円

◆ 経常利益 ▲10億円

営業外収益 ▲0.5億円

営業外費用 +7.4億円

➤ 前期：為替差益 1.0億円

➤ 今期：為替差損 7.6億円

◆ 四半期純利益 ▲8.8億円

特別利益 ▲9.2億円

➤ 前期：

投資有価証券売却益 9.2億円

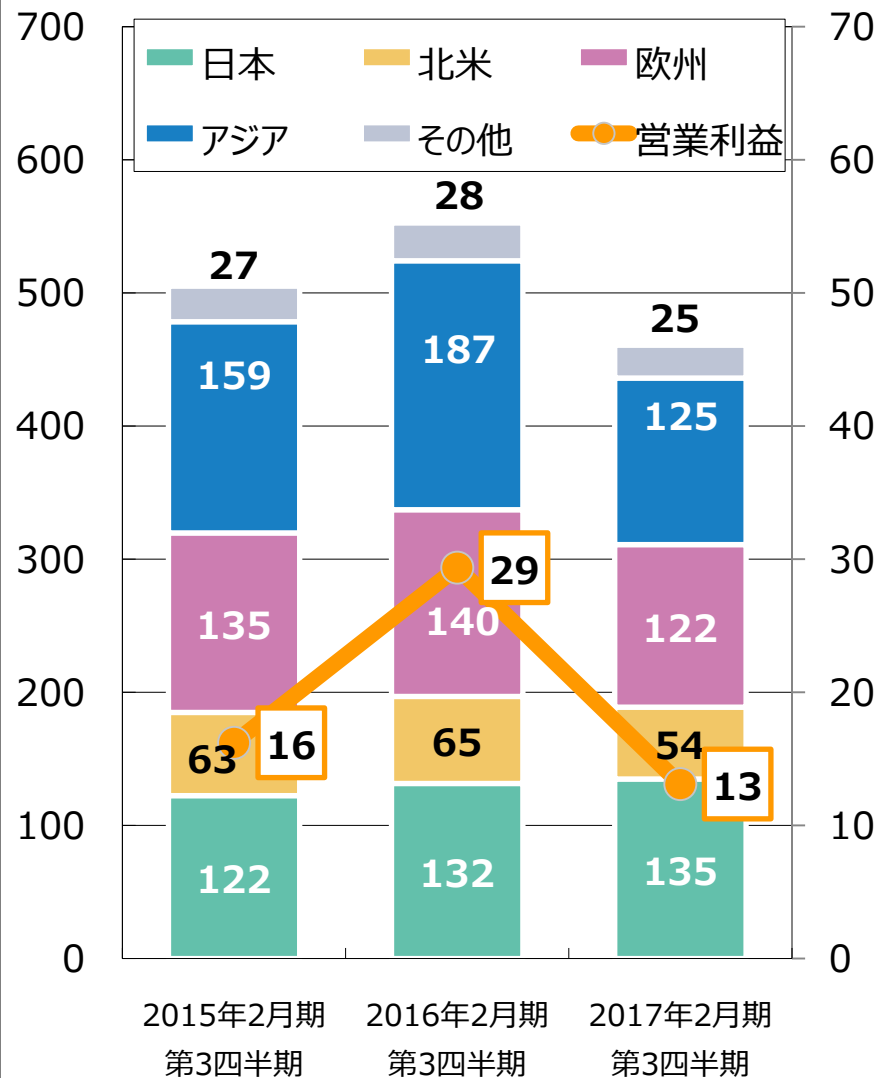
特別損失 ▲7.2億円

➤ 前期：

防衛装備品関連損失 6.2億円

船用事業・連結売上高（累計・地域別）

左軸：売上高、右軸：営業利益（億円）



売上高 460億円（前年同期比 ▲16.6%）

セグメント損益 13億円（▲16億円）

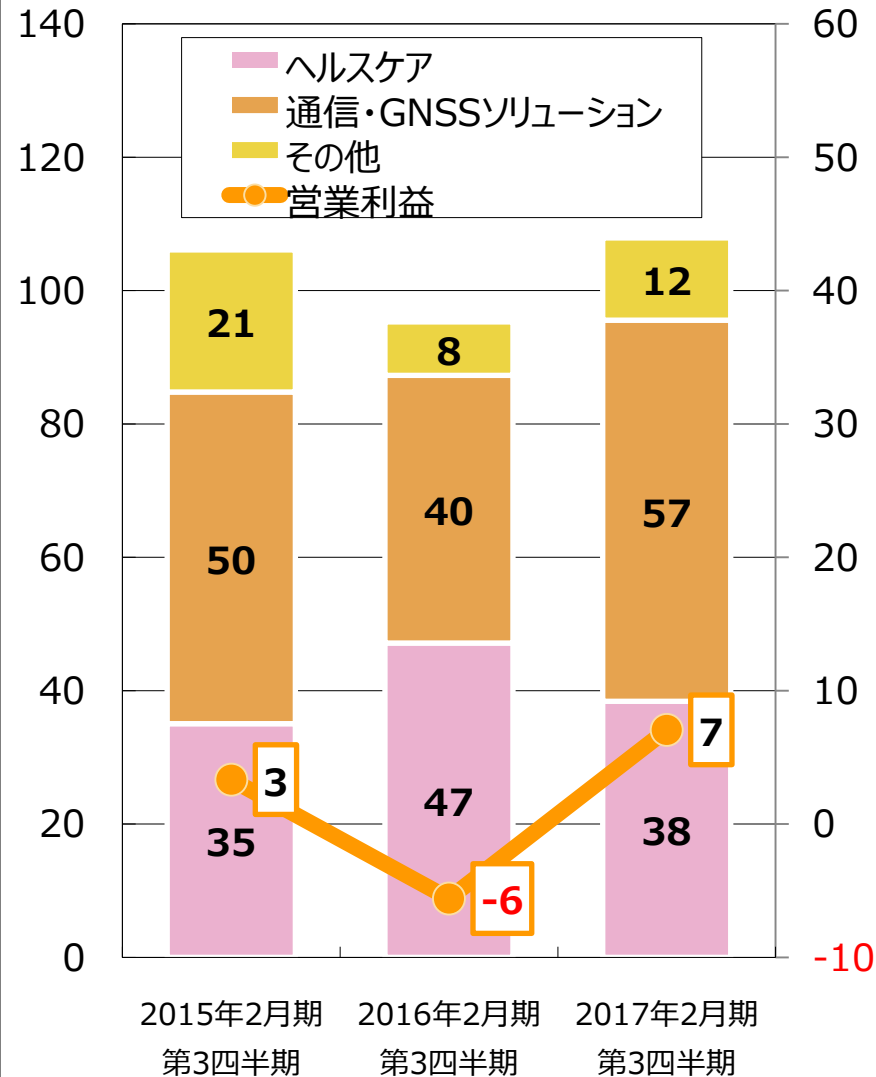
海外販売減と為替影響で減益

- ◆ 日本：売上高 135億円（+2.5%）
 - 増収継続、商船向け堅調
- ◆ 北米：売上高 54億円（▲17.5%）
 - 3市場ともに減収
- ◆ 欧州：売上高 122億円（▲12.9%）
 - 商船向け減収拡大、小型商品も減収に転じる
- ◆ アジア：売上高 125億円（▲33.2%）
 - 商船向け、漁業向けいずれも減収拡大

※2017年2月期第1四半期決算説明資料から、「プレジャー向け」の表記を「小型商品」に変更しております。

産業用事業・連結売上高（累計・製品群別）

左軸：売上高、右軸：営業利益（億円）



売上高 107億円（前年同期比 +13.2%）

セグメント損益 7.1億円（+13億円）

ETC車載器などが好調

◆ヘルスケア事業：

売上高 38億円（▲18.6%）

▶ 大型の生化学自動分析装置が低調

◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 57億円（+42.4%）

▶ ETC車載器、周波数発生装置などが増収

◆その他：売上高 12億円（+53.9%）

▶ 防衛省向け売上が増加

※2017年2月期第1四半期決算説明資料から、「医療機器」の表記を「ヘルスケア事業」に変更、「GPS機器」と「ITS機器」を「通信・GNSSソリューション事業」に統合しております。

高性能グラフ魚探「型式：FCV-2100」を発売

- ◆ 漁業資源の把握や漁船操業の効率化への貢献を目的として、高性能グラフ魚探「型式：FCV-2100」を発売しました。
- ◆ まき網漁船によるサバやイワシ、アジなどの操業時の活用を想定し、魚体長の計測精度やグラフ表示機能（探知した魚群にどんな大きさの魚がどれくらいの割合で存在するかを棒グラフで表示する機能）の安定性を向上させました。

ウェブサイト⇒ <http://www.furuno.com/jp/products/fishfinder/FCV-2100/>



▲表示イメージ

GPS付き発話型ETC2.0車載器のラインナップを拡充

- ◆ ETC2.0サービスに対応したGPS付き発話型ETC2.0車載器の新機種として、「型式：FNK-M100RS1」を発売しました。
- ◆ 本商品は、デジタコ（デジタル式運行記録計）や運行管理端末などの外部機器とデータ連動する業務用車両向けに開発しました。ETC料金所の通過情報やETC走行履歴をデータ出力し、高速道路と一般道路を区別した正確な走行記録を残すことができます。

ウェブサイト⇒ <http://www.furuno.com/jp/products/etc/FNK-M100RS1/>



▲本体の外観イメージ

補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2016年2月29日現在



社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年（昭和26年）
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6814)

I R 情報サイト⇒ <http://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <http://www.furuno.com/>

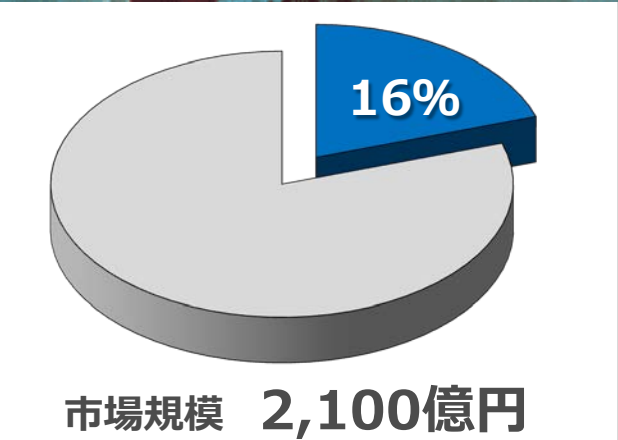
企業ブランドサイト⇒ <http://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して

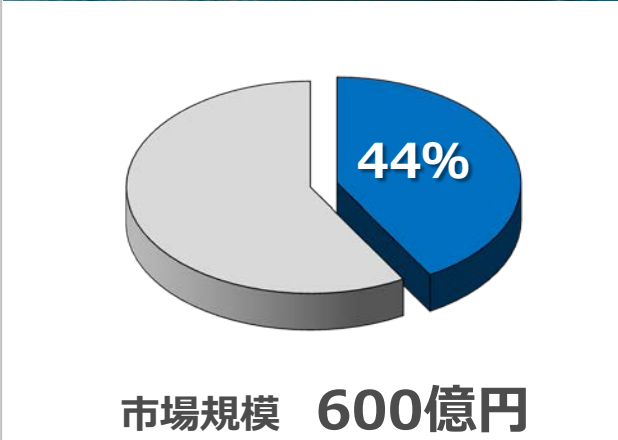


市場規模は、2015年の各社売上データに基づく当社推定による試算値

商船向け



漁業向け



総合船用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

(世界市場 4,500億円のうち、シェア16%占める)